

自治・分権の時代に議会の役割を見つめ直す

―議会改革調査特別委員会が開催中―

議会改革調査特別委員会が2月から始まっています。委員会は月1回のペースで開かれ、委員が順番にテーマごとの調査事項を発表し議論しています。テーマは「地方自治と地方分権」「議会制度の現状と議会のあり方」「議会の権限強化」「開かれた議会」「議会の役割・機能と職務」「政策提案と調査機能の充実」「議会活動と質問のあり方」で、生活者ネットワークは7月13日に「開かれた議会」を担当しました。

8月10日には議会改革を積極的

に進めている多摩市議会に近隣視察に行く予定です。さらに、各回協議事項で合意がとれたものから順次変えていこうということ、まずは一般質問の通告書の公開と質問順について現在議会運営委員会に諮問中です。

地方分権が進み市民の自治意識も高まるなか、自治体が自ら事業を決定する自治の必要性が強まると同時に、執行機関（＝行政）をチェックし多様な市民ニーズを反映する地方議会の役割も大きくなっていくといえます。その役割を

自認し、より開かれた議会への変革を自らめざすことがいまの議会には求められているわけです。

委員会には毎回多くの市民が傍聴に訪れていますが、議会改革は市民に見える形で進んでいくことが大事です。各委員がいまの議会の課題や議員として感じていることについて本音で意見を交わしているのは画期的な出来事であり、市民が議会に関心を持つことで緊張感を持った議会運営が行われ議会機能が高まっていくことが期待できます。11月20日には中央公民館で市民との意見交換会を行い、あわせて特別委員会での議論の経過報告をする予定です。

市民目線で民主主義における議会の役割を見つめ直すことが議会改革の目的であり、今後もより開かれた議会に向けて活動していきます。
(日向みさ子)

□編集後記

ワールドカップや大相撲の不祥事など、マスコミは国民の関心事をそこに集中させるように報道もしてしまっ。その陰で起きている大切な事に注意を払わねば…
(K)

インフォメーション

◆議会報告会

6月議会で話し合われたことについて、市議会議員から報告をし、市政について市民のみなさんと対話する会です。お気軽にご参加ください。

- 2010年7月26日(月)10:30～12:00
会場:美園地域センター
- 2010年7月29日(木)19:00～20:30
会場:津田公民館
- 2010年8月1日(日)10:30～12:00
会場:仲町公民館



◆小平・生活者ネットワーク19周年講演会&政策発表集会

「いま問われる社会・政治・市民」

講師:山口二郎さん(北海道大学教授)
日時:2010年10月23日(土)14:00～16:30
会場:ブリヂストンクラブ

問合わせ:小平・生活者ネットワーク

〒187-0045 小平市学園西町2-15-2
CB一橋学園
TEL・FAX 042-342-4494
メール kodaira@seikatsusha.net

窓

グリーンロードを 小平のYellow グリーンロード条例を

不動産アドバイザー 花小金井在住
百田 浩



小平の特色といえば真っ先に挙がるグリーンロード。一周21kmにわたる沿道の田園を含んだ、歴史的な水と緑豊かな環境である。玉川上水など市民や行政の熱意と努力で保全や整備が進み、小平市みどりの基本計画2010でも、「みどりの骨格」として位置付けられた。一方、骨を支える肉にあたる沿道の環境は、危機にさらされている。現行の都市計画に沿って、一部を残して開発し尽され、骨だけが残ると予想される。けやき並木が激減した青梅街道と同じく、10年、20年後には、こんなはずではなかった、となるだろう。グリーンロードを小平の宝として輝かせる構想としくみが必要だ。総合的なデザインに基づき、たとえば両側の幅20mまたは100mの範囲を特別地区に指定し、塀の生け垣化、壁面後退、色彩指定などのまちなみの美化、農地と樹林の保全、農商工のコミュニティビジネスの振興等。条例化で確かなものにする時機にきているのではないだろうか。